

意見書第5号

平成30年6月27日

高島市議会議長 廣本 昌久 様

提出者 高島市議会議員 澤本 長俊

提出者 高島市議会議員 梅村 勝久

提出者 高島市議会議員 今城 克啓

提出者 高島市議会議員 大槻 ゆり子

提出者 高島市議会議員 早川 浩徳

陸上自衛隊今津駐屯地の体制維持・強化を求める意見書案の提出について

上記の議案を別紙のとおり、高島市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

陸上自衛隊今津駐屯地の体制維持・強化を求める意見書

高島市には、陸上自衛隊今津駐屯地および隣接する饗庭野演習場ならびに航空自衛隊饗庭野分屯基地があり、明治19年に饗庭野が旧陸軍の演習場として使用に供されて以来、実に130年余の長きにわたり自衛隊と共存しながら、まちづくりを行っております。

また、当市は地域に貢献する自衛隊に深い理解を示し、今津駐屯地ならびに饗庭野分屯基地のそれぞれに地元協力会を設置し、各種行事を通じて、自衛隊と密接なつながりを築き、現在に至っております。

こうした中、平成25年12月に決定された「防衛大綱」では、戦車および火炮の削減が示されており、また「中期防衛力整備計画」では、特に戦車は北海道と九州以外の部隊を廃止するとされていることから、第3戦車大隊と第10戦車大隊が部隊の中心である今津駐屯地において、部隊の大幅な削減・廃止が予想されることです。

当市においては、部隊の削減・廃止などに伴う駐屯地の隊員減少は、地域経済の低迷やこれまで共に築いてきたまちづくりの基本が崩れ、本市の公益を損ない、地域コミュニティの維持・活性化に大きな影響を与えることとなります。

よって、国におかれては、本市の実情をご賢察いただき、地域と不可分の関係があり、隣接する良好な演習場など訓練環境に恵まれた今津駐屯地および周辺施設等の継続的な活用ならびに災害発生時の対応など地域の安全安心確保の面から、今回見直される「防衛大綱」および「中期防衛力整備計画」において、適切な部隊の配置など最大限の配慮を図られるよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成30年6月27日

高島市議会議長 廣本 昌久

提出先

衆議院議長、参議院議長 }
内閣総理大臣、防衛大臣 } あて